

「地元建設業と高校等との交流会」

R 4. 11. 18

主催：建設業協会東青支部・青年部会

共催：青森県

【参加者 104 名 … 学校各校の生徒・学生・教員含 72 名、県 3 名、協会 14 社 29 名】



○ 我が社の色々な作業服を紹介

地元建設業と高校等との交流
～建設業の新4K(感動・カッコいい・結構モデル・稼げる)を目指し



○ 個別相談会



○ 作業服お披露目



○ 体験発表

志田内海株



(株)黄金工務店



(株)藤本建設



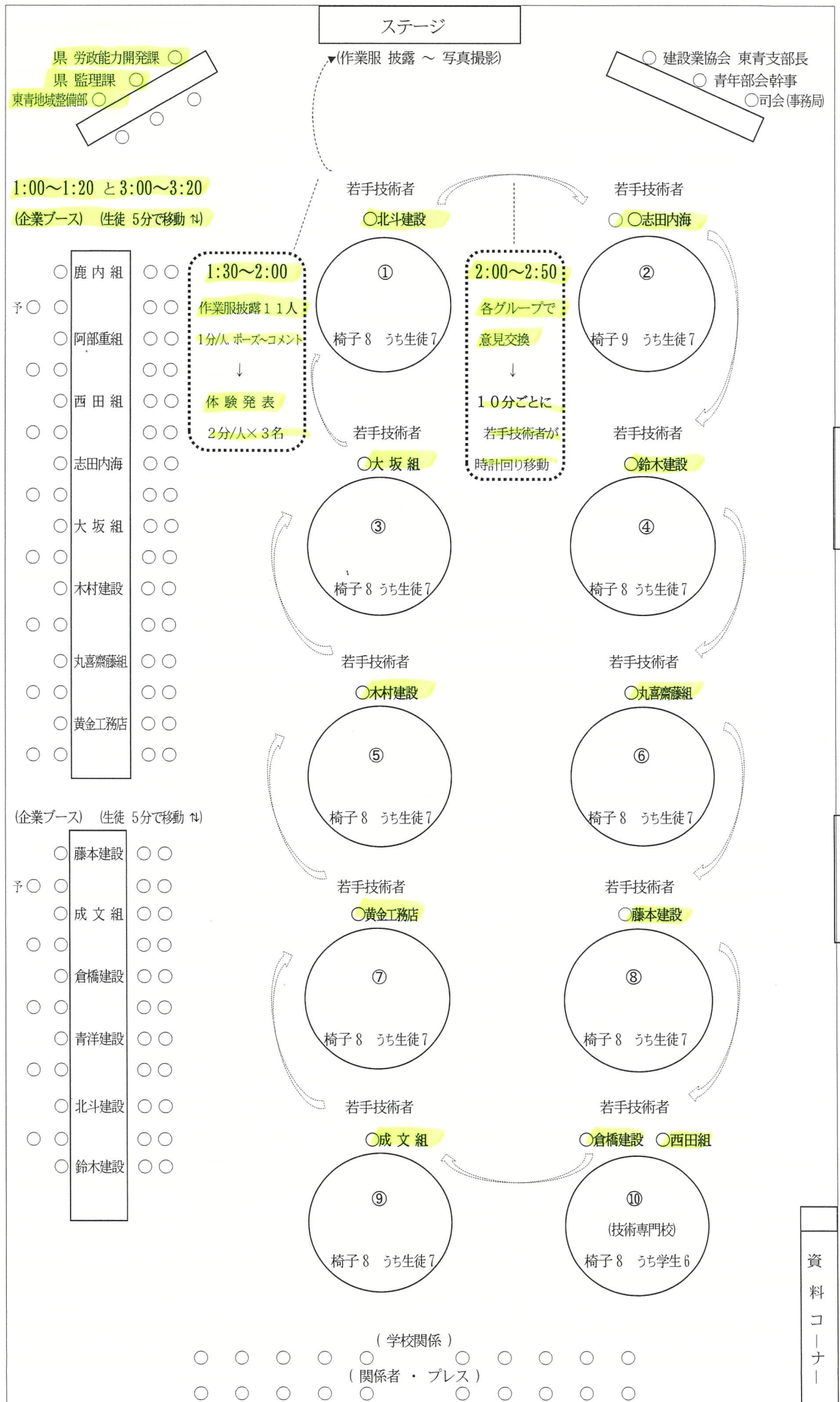
○ 各グループ意見交換



○ 県よりアドバイスと情報提供 (東青 地域整備部・監理課・労政能力開発課)



R 4. 11. 18 1:00~3:20 アラスカ B1 サファイア



※ 出席者 104 名 (生徒・学生 67+教員等 5+協会 29+県 3)、うち 生徒・学生の 64 名より回収・集計

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	計
問 1 参考になりましたか?	53	8	3	0	0	64
問 2 期待していた情報は得られましたか?	48	10	6	0	0	64
問 3 説明は分かりやすかったですか?	50	9	5	0	0	64
問 4 各時間配分について	32	13	8	7	4	64

(意見) ・個別相談会の時間をもっと長く 10。全体時間をもっと長く 2。時間は大丈夫 1。交替は 1 分前に連絡を 1。
・作業服で回って来る時 しっかり見たかった 1。とても分かりやすかった 1。

問 5 今後実施して欲しいものがありましたら教えてください。(複数回答可)

☐ 今回のような交流会	52	
☐ 今回の交流会+専門講師の講話	8	
☐ 今回とは別の形の情報交換会	8	すべての参加企業を何分かで回していく 1
☐ 資格取得のための合同研修会	6	
☐ その他、実施して欲しいこと	0	

問 6 今回の交流会について、ご意見やご要望がございましたらお聞かせください。

- 1 すごく楽しかった、満足、最高、分かりやすかった など 8
- 2 時間をもっと長くしてほしい など 5
- 3 普段聞けない話を聞いて貴重な体験だった など 3
- 4 期待以上の情報を得られることができた など 3
- 5 皆とても明るく話もスムーズに進んでとても楽しかった 1
- 6 堅苦しい話でなく私語も混ぜながら話せてとても楽しかった 1
- 7 今のうちからやっておくべきことを教えてくれたのがよかった 1
- 8 色々な企業の良さや地元で働くことの良さを知ることができて気になる企業もあった 1
- 9 ファッションショーなど楽しく見れた 1
- 10 時間が足りなく移動させられることがあり、企業間で連携をとってほしい 1
- 11 もう少し建築系がほしい 1
- 12 来年も交流会を開いてほしい 1

※ 主催者 協会(事務局)まとめと 次回について

- ・概ね満足との回答であった(時間が足りないとの意見は総数で 2 割弱)。今の感染状態で大勢の会議は長時間はよくないので、より多くの企業と話すには、相談会の時間規制はやむを得ないとする。
- ・来年は前回のように 6 月中旬で関係者と協議中。(時間配分は、感染状況が収まれば 1 時間増やします)

(次回の案) 1:00~1:50 個別相談会(前半 10 分毎 入替×5 社)、 1:50~2:00 主催者挨拶
2:00~2:10 体験発表「自慢できる技術」(2 分×4 名…5 年~10 年勤務の技術者 4 名)
2:10~3:30 グループ意見交換(10 分毎 G 移動×8 社 … 5 年以内の若手技術者 8 名)
3:40~3:50 県よりアドバイス・情報提供(3 分×3 名)
3:50~4:30 個別相談会(後半 10 分毎 入替×4 社)

地 元 建 設 業 と 高 校 等 と の 交 流 会

～建設業の新4K(感動・カッコいい・結構モテル・稼げる)を目指して～

主催 青森県建設業協会 東青支部

〃 〃 青年部会 東青支部

共催 青 森 県

地域の魅力ある企業を理解する機会を学校に提供し地元の就職促進を図る目的で、交流会を開催
(学校等への企業紹介集や青森イメージアップパンフ等の情報提供は毎年実施。交流会は3年ぶり)

【概要】

1 対象者： 高校生(教員、保護者)、専門校、大学生、協会員(東青管内の建設業者より)、関係者

2 開催日： 11月18日(金) 午後 1:00～3:20

3 場 所： アラスカ会館 B1F「サファイア」 青森市新町 1-11-22

4 内 容

(1:00～1:20 希望者による個別相談会(前半) … 生徒・学生は 1企業5分程度で移動)

1:20～1:30 主催者挨拶、進行説明

1:30～2:00 若手技術者 作業服 お披露目(各グループ若手技術者 ステージで写真撮影)…1人1分

〃 うち3名 体験発表(入社の動機、仕事のやりがい、アドバイス) …1人2分

2:00～2:50 各グループ 意見交換(丸テーブルで若手技術者が司会進行：生徒から質問 ⇄ 回答)

〃 10分毎に入替(各グループ若手技術者が時計回りに移動して司会進行)

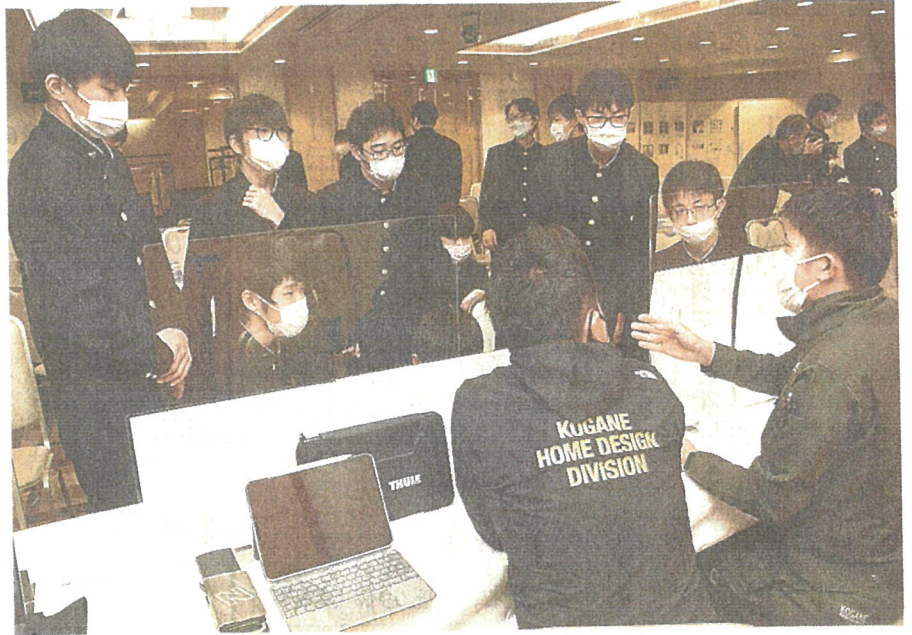
2:50～3:00 県より アドバイスと情報提供(労政能力開発課・監理課・東青地域整備部 各3分)

(3:00～3:20 希望者による個別相談会(後半) … 生徒・学生は 1企業5分程度で移動) 終了

建設業 新4KをPR

青
森

県建設業協会東青支部と
協会青年部会東青支部、県
は18日、青森市のアラスカ
で、県内の高校生や専門校
の学生と交流会を開いた。



建設業者の説明を熱心に聞く高校生

東青地区の14業者が仕事の
やりがいや職場の雰囲気
を紹介。おしゃやかな作業着を
身に着けた若手社員による
ファッションショーも行わ
れ、生徒、学生の関心を集
めた。

人手不足が深刻化する
中、建設業の魅力を知って
もらおうと、「建設業の新
4K（感動・カッコいい・
結構もてる・稼げる）」と
題して企画した。2020、
21年は新型コロナウイルス
の影響で中止したため、交
流会の開催は3年ぶり。

青森工業高校と青森技術
専門校から約70人が参加。
各業者が個別のブースを設
け、「設計を行うためには、
まず現場の作業を知ること
が大切」などと、仕事のや
りがいを熱心に伝えた。勤
務時間や休日取得について
も丁寧に説明した。

作業着のファッションシ
ョーでは若手社員がステー
ジ上でポーズを取り、カメ
ラマンが写真を撮影。生徒、
学生たちも盛んに拍手を送
っていた。
（永野悠太）



【熱心に話を聞く学生たち】

県建設業協会東青支部 と高校等との交流会 ＝県建設業協会東青支部＝ 青森市で開催

・カッコいい・結構モテる・稼げる」を目標として、18日、青森市のウエディングプラザアラスカで開催された、当日は東青管内の建設業団体関係者、県、県高等技術専門校生、青森工業高校生、保護者、教員などの約120人が出席した。

これは、地域の魅力ある企業を理解する機会を学校に提供し、地元就職促進を図る目的とするもので、毎年学校などへの企業紹介集や青森のイメージアップパンフレットなどの情報提供は行われているが、新型コロナウイルスの影響で交流会は3年ぶりの開催となる。

主催者代表で鹿内支部長が挨拶したあと、若手技術者による作業服お披露目が行われ、各企業特徴やこだわりの点などをプレゼンし、その中の代表3名が入社の動機や仕事のやりがい、アドバイスなど地元で働く理由の体験発表を行った。

その後、グループ単位による若手技術者への質疑応答を行った。最後に企業別ブースでの生徒からの相談、各種情報提供があり、今回の交流会は高校生たちのこれからの進路に関して参考になったようだった。

◎参加業者

(株)鹿内組、(株)阿部重組、(株)西田組、志田内海、(株)大坂組、(株)木村建設、丸喜(株)藤藤組、(株)黄金工務店、(株)藤本建設、(株)成文組、倉橋建設、(株)青洋建設、北斗建設、(株)鈴木建設

地元建設業の魅力PR

県建設業協会 高校生ら招き交流会



県建設業協会東青支部(鹿内雄二支部長)と協会の青年部会東青支部は18

日、青森市のウエディングプラザアラスカで地元建設業と高校等との交流

若手技術者(手前)の話を聞く生徒
会を開催し、地元建設業の魅力を生徒らにPRした。この交流会は、地域に密着する建設企業の魅力を知ってもらうことで地元への就職促進を図ることが目的。コロナ禍の影響により3年ぶりの開催となった。この日は、青森工業高等学校の建築科と都市環境科の2年生62人と、青森高等技術専門校の生徒6人が参加。会員企業からは

14社の代表者と若手技術者らが参加した。交流会では、各企業がそれぞれ製作した作業服を若手技術者が着用し、壇上でお披露目。従来のイメージとは異なるスタイリッシュなデザインのものなど各社の個性が表れた作業服で、モデル役となった若手技術者たちは生徒たちから喝采を浴びていた。

その後、生徒たちは数グループに分かれて若手技術者と意見交換を行い、生徒は給料はどのくらいもらえるのか、「どのような資格を取ればいいのか」、「現場監督になるまで何年くらいかかるかなど」と質問。若手技術者は「資格を取るための勉強は毎日少しずつでも続けることが大切」とアドバイスしていた。

参加した青森工業高校都市環境科2年の白糠大翔さん(17)は「歳が近い先輩から実際に生の声を聞くと働いた時のイメージがわかりやすい。今後の進路選択の参考になった」と話した。

意見交換終了後には、参加各社が設けたブースで個別相談会を開催し、訪れた生徒に自社をPRしていた。(町田大祐)